

リーディング DXスクール事業【実践事例】

久喜市立鷲宮中学校(埼玉県)【協力校】

【取組内容】校務での GoogleWorkspace for Education 各種ツールの活用を通じた 鷲中改革

教育DXはまずは校務から！ 毎年、いや日々修正を加えながら、より良い活用法を模索中です！

デジタル日報

R3.7月より運用開始（現在4年目）

- Google スプレッドシートを活用することで「いつでも、どこでも、どの端末からでも」アクセスすることができる。
- 今日必要な情報が1枚にまとまっているので「情報共有の円滑化」「業務の効率化」を図ることができている。

POINT!
場所にとられない働き方の実現

年齢・項目整理シート

R6.4月より運用開始（1年目）

- 全職員で共同編集し、生徒理解することで「多角的な情報収集」「担当者間の情報伝達」が円滑に行うことができる。（運用中）
- クラウド環境下で運用することで「外部機関への情報共有や年度への引継ぎ」を容易に行うことができると考えられる。

POINT!
全教職員で全生徒支援を実現
誰一人取り残さない鷲宮中学校へ

CBT

R5.1学期中間テストより運用開始（現在2年目）

- Google フォームを活用することで「採点の時短などテスト関係業務の効率化」を実現することができている。
- トラブルや不安の声、懸念事項も多々あるが「Digital first.」 / 「Fail fast.」しながら、失敗から学び、改良を重ね、意義のある使命に取り組んでいる。

POINT!
ペーパーレスで実施することで
自動化・効率化を実現

生成AIで人間の苦手、面倒なものを効率化・爆速化！ 創出された時間を子どもたちとの時間に充てる！

生成AI

R5.リーディングDXスクール
生成AIパイロット校

- 人間の「苦手・無知・面倒」を生成AIで補う「原案の作成」「情報収集」「作業の効率化案」を圧倒的な速さで回答してくれる。
- “あくまでもAIはcopilot(副操縦士)であり、pilotである人間の知識・思考・意思決定が重要である。” 東京大学大学院工学系研究科 吉田義典教授 氏談話より

POINT!
AI活用により生み出された時間で
創造的な教育活動を実現

生成AI

変化の加速化・非連続化

“既存の情報を整理・分析するだけならAIの方が有能。AIやデータを十全に使いこなすことは前提としつつ、豊かな人間性を育むこと、個々の情報の意味を理解し問題の本質を問うこと、課題を発見したり設定したりすることの重要性が高まる”

今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 論点整理 (R6.9/19)

生成AIの活用場面

1. アイデア出し: 既存の情報を整理・分析するだけならAIの方が有能。AIやデータを十全に使いこなすことは前提としつつ、豊かな人間性を育むこと、個々の情報の意味を理解し問題の本質を問うこと、課題を発見したり設定したりすることの重要性が高まる。

2. 内容決定: 生成AIを活用して、既存の情報を整理・分析し、新たなアイデアを創出する。

3. 文章作成: 生成AIを活用して、作成したアイデアを文章化する。

4. AIとの対話: 生成AIを活用して、作成した文章を修正・改善する。

5. 構成最終調整: 生成AIを活用して、最終的な構成を決定する。

6. プレゼン: 生成AIを活用して、最終的なプレゼンテーションを作成する。

「変化が激しい…問題が山積み…」でOK！ 課題をリスト化し、1つずつ乗り越え、その先に見えるのが教育DX！？

本校の課題

- ①情報過多
- ②変化への対応
- ③デジタルデバイド
- ④セキュリティリスク

本校の課題

できていないこと / やりたいこと

- ①情報過多
生徒指導の記録
+ SCの聞き取り
+ 教育相談部会の資料
+ 小学校からの申し送り → 情報の一元化へ

年齢・項目整理シート

教職員業務用スマートフォン (セキュリティ対策)

職場専用 AIチャットボット (自走できる職員集団に)

Ai

このような未来が待ち遠しい！